



第 1395 回例会報告

平成27年1月8日(木)晴れ

会長挨拶

会長 吉澤邦雄

年始に当たって

皆様新年明けましておめでとうございます。本日は地元下諏訪町の青木悟町長をお招きしての新春卓話例会です。お忙しい中、時間を割いていただきありがとうございます。後ほどよろしく願い致します。また、本日は諏訪 RC から大和眞史会員と関口良一会員がお見えになっておられます。

さて今年の正月三箇日は大変平穏で良かったのですが、ご存知のように昨年は我諏訪地方の記録的な豪雪による交通網の寸断、農業被害といった深刻な雪害を皮切りに、南木曾では豪雨による土石流災害、大惨事を引き起こした御嶽山の噴火、県北部、白馬村周辺を襲った大地震等々、身近なところで幾つもの大災害が発生しました。このところの天変地異が大変心配されますが、どうか本年は平穏無事な一年であって欲しいと切に願うところでもあります。

ところで、皆様お気づきのことと思いますが、年末年始の各社新聞に「人口減対策」の記事が何回か掲載されました。“諏訪圏の人口20万人を切る”という大きな見出しに少なからずショックを受けたのは私だけでしょうか。諏訪6市町村の昨年4月1日時点の推計人口で、現時点では若干回復しているようですが、昭和53年に20万人を超えて

以来、大台を割ったのは初めてのようです。私も日頃から各市町村の人口動態が気になっており、減少傾向にあることは知っていたのですが、こんなに早く割り込むとは思っていませんでした。また気がかりなのは、昨年“日本創成会議”により発表された「将来消滅する可能性がある自治体」の中に、下諏訪町を始め高齢化率が高い諏訪圏のいくつかの市町村が含まれていることです。

こうした状況は地域経済にとっても、計り知れない負の連鎖として悪影響が出てくるでしょうから、平和で豊かな社会を標榜する我々にとっても決して他人ごとではありません。今後はいかに人口減を食い止めるか、そのために我々には何ができるか真剣に考え、地域一丸となって行う“人口減対策”が喫緊の課題でしょう。記事では「今後、雇用確保や子育て支援などの人口減対策に加え、人口減少時代を見据えたインフラの維持や広域連携の強化も求められそうだ。」とありました。少子高齢化が一層進むこの地域に子育て世代をいかに定住させられるか、地域の魅力を高め地域力を高めるためにも、そろそろ圏域一体となって“諏訪は一つ”運動をもう一度真剣に進める時期ではないでしょうか。

◇幹事報告◇

【連絡事項】

1月のロータリーレートは1\$118円です

【受領文書】

RI 財団ニュースが届きました

バギオ便りが届きました。回覧いたします

■出席報告

会員数	38名
出席対象	37名
出席者数	33名
出席率	89.2%
前回修正	94.6%

■ニコニコBOX

13名	26,000円
累計	314,000円
目標額	60万円
達成率	52.3%

■今週のことば

娘が一級建築士試験に合格しました。 蒲地整志
ガールスカウト50周年記念事業「うたごころ」上映の案内をレターボックスに入れました。よろしく
お願いいたします。 河西達雄



ビジター紹介



諏訪ロータリーから、大和眞史会員、関口良一会員が新年祈願祭よりお見えになり、例会にも出席いただきました。その上ニコボックスにもご寄付をいただきました。ありがとうございました。

会員推薦者表彰状伝達



丸山美樹彦会員の推薦者を務めた小笠原会員に会員推薦表彰状と襟ピンバッジが届きましたので伝達しました。

第 1395 回例会

新春卓話

下諏訪町長 青木悟

まずは30周年を無事むかえられ、ますますロータリーの皆様が活躍なさっておりますことを、心よりお祝い申し上げ、お慶び申し上げます。

さて26年を振り返りますと、豪雪、豪雨による南木曾町の土石流、御嶽山噴火、北部地震と災害の多発した年でした。今年こそ平穏無事な年となってほしいと心



より思います。

仕事始め式で毎年訓辞をいたしますが、今年は「和」という話をさせていただきました。書き初めも「和」と書かさせていただきました。戦後70年この平和が続くよう恒久平和を願い平和行政を進める年です。

和衷協同(心を同じくして共に力を合わせ、仕事や作業に当たること)も和です。第7次総合計画策定の年、御柱を控えた年、ここでも和が大変重要な役目を果たします。

国が掲げる地方創生について考えますと、利便性と効率性を求めての開発は、金太郎飴のような町を創ってしまいました。その反省を活かし、地域の持つ歴史や伝統文化、自然環境などの特色、宝を活かすまちづくりが求められます。地域の持つ特色を活かしたまちづくりが必要だということです。では下諏訪の特色を活かしたまちづくりとは、例えば諏訪湖畔環境等の自然健康スポーツゾーン構想もそうですし、旧石器から縄文黒曜石国指定史跡となりますのでそれを生かし儀象堂内にそうした事業を展示する展開を予定しています。

また、観光においても、祭り文化を大切に地元の人々が参加協力できるような「お祭り広場」を実施したいと考えています。

おかげさまで防災公園はそのほとんどを完了できました。

地域防災計画策定事業は、災害対応6項目について9月に知事通達を受け、所管係に至急対処するように連絡したところ3日後に報告と要望書提出でき内閣府事業として採択されました。こうした職員と連絡をした密にした行政を進めていきたいと思ひます。

最後に諏訪の合併は、どうしても行わなければならない事業です。健康保健やゴミ処理など多くの事業がすでに合併していますが、名実ともに一緒になれるよう推し進める気持ちです。

Happy birthday



小松孝弘会員、近江誠一会員、高山巖会員、成山秀幸会員(早退)